学校だより
三年先の稽古
発行：校長　益子　朗

校是「三年先の稽古」
○みんなが行きたくなる学校
○「現場力」「本番力」を磨く学校
○地域に支えられ地域を支える学校

県南中体連総合大会（&陸上・水泳大会）中止に

本日、正式通知があり、本来ならば６／２(火)から開催されるはずだった県南中体連総合大会および５／20(水)に予定され、延期となっていた陸上大会、そして６／17(水)に開催予定の水泳大会は、残念ながら中止となりました。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大と、それに伴う学校の臨時休業を受け、何とか延期してでも実施できないかといろいろ検討してみましたが、諸般の事情から開催を断念せざるを得ない状況になってしまいました。

そもそも全ての最大の理由は、参加者の安全を完全には保証することです。いろいろ調べたり、交渉したり、手を尽くしましたが、中体連としても苦渋の決断をせざるを得ませんでした。

決断をした具体的に左記のような状況も判断材料となりました。

①新型コロナウイルス感染症は、感染した場合、２割は無症状、６割は軽症、そして残り２割が重症化するそうです。大会を開催した場合、例えば**持病がある生徒が重症化するリスク**は避けられません。また、たとえ本人は発症しなくても、家族(特に**高齢者**)に**感染し、重症化させるリスク**があります。

②現在、県南地域で新型コロナウイルス感染症の治療が可能な病院は１カ所で、ベッドは10床のみ、担当医は交代制とのことです。

③感染予防の工夫をすれば試合自体はある程度実施できる種目もあるかもしれませんが、例えば剣道・柔道・バスケットボールなど、**選手同士が近く、また接触せざるを得ない種目は実施が困難**です。

④大会の運営は、中学校の教員だけではできません。各種目とも学校関係者以外の一般の方にも役員や審判を委嘱していますが、現状では**外部の方にまでリスクを冒して役員をお願いすることは難しい**と言わざるを得ません。また高校の種目もありますが、高体連大会が中止となっているのに中体連大会が通常の審判をお願いするのは、筋が通らないでしょう。

⑤臨時休業期間が長かったため、明らかに練習が不十分であり、**体力や技術の不足による事故や怪我のリスク**も高くなっています。

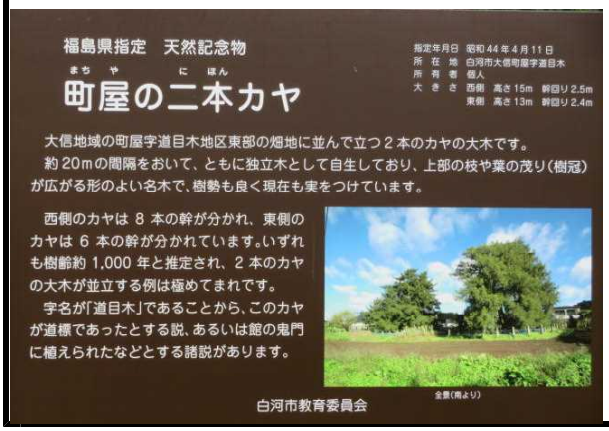
こうしたことから、このほど県南中体連の総合・陸上・水泳大会はいずれも中止となりました。校長会や関係各方面でも、ぎりぎりまで何度も検討しましたが、生徒の命を守るということを最優先に考えれば、苦渋の決断をせざるを得ませんでした。

生徒諸君、特に３年生にはお詫びや慰めのことばもありません。どんなことばをもってしても、３年生に許してもらえるとは思いません。高校のインターハイや甲子園等と同じように、最後のシーズンにかけてきた努力に報いることができず、本当に申し訳ありません。

ただ、３年生をこのまま引退させてしまうのはあまりにも無情です。今後、他校とも連携して、何らかの形でせめて一引退試合一ができないか、可能性を求めていきます。なお、三密を避ける最大の配慮をした上で、恒例の予定で、３年生の保護者の皆様には、選手のユニフォーム姿を見届けにお越しいただきたいと思いますが、何とか**６月中には実施する「選手壮行会」だけは実施**したいと思います。現時点で日程は未定ですが、運動部の活動については、それをもって、３年生に応援部に活躍いただくために区切りをつけ、目標を進路に切り替えてほしいと思います。

なお、学芸部・音楽部の３年生につきましては、当面、活動の継続を認めたいと思います。また特設陸上部(駅伝)の活動については、今後の状況を見ながら、体力の回復のために、可能な限り実施できるように考えております。

大信中学校の校歌に謳われている銘木「町屋の二本カヤ」



校長のつぶやき　に代えて・・